

高女通信 ∞ 第 1 号 ∞

編集発行 群馬県立高崎女子高等学校

発行日 平成30年5月18日(金)

校長先生コラム 高女グランドデザイン「認め合う、高め合う、全力投球」

昨年度、1学級減が決定してから、高崎市内は2回、その他に西毛地区（藤岡・富岡・安中等）はもちろん、前橋、渋川、沼田、吾妻、伊勢崎、太田、桐生地区へと、高女学校教育の宣伝に管理職で廻りました。中学校現場へ行くと、学校にはわからないことが見えてきます。その中の一つに「高女ブランドは、若い保護者には通用しませんよ」というある中学校の校長先生の時代を象徴した？言葉がありました。

ちょうど、高女教職員全員で「学校のグランドデザイン」を作成する研修を実施していましたので、今年度の学校宣伝に使うポスターの作成も兼ねて取り組みました。作成したポスターを学校内に掲示しましたので、ご覧ください。「認め合う、高め合う、全力投球」先生方で考えた、高女の目標とするありのままの姿を表現した言葉です。ポスターは、高崎市内、西毛地区は小中学校に、その他の地区は中学校に配付する予定です。高女のよい伝統を根幹として、新しい価値観にも柔軟に対応できる学校運営を意識したいと考えています。

♪各部定期演奏会、盛況に終わる♪

3月29日（木）に吹奏楽部、5月3日（木）4日（金）に音楽部、5月6日（日）にマンドリン部の定期演奏会が行われました。各部、部員が一致団結して企画から運営まで行い、練習の成果を十分に発揮し、堂々としたステージを作り上げました。

吹奏楽部の演奏会は「イーゴリ公」よりダッタン人の踊り、石の花などのクラシックステージで華々しく幕が上がりました。



第2部では高女オリジナルステージとして「シンデレラ」が上演されました。わかりやすく構成されたストーリーや、豪華な衣装・大道具、そしてそれぞれの

キャラクターを演じたキャスト陣の素晴らしい演技力が光っていました。

音楽部の定期演奏会では合唱曲やポップステージの後、ミュージカル「サイズ&ドールズ」が上演されました。耳馴染みの良い音楽と、工夫された演出で観客を魅了していました。



マンドリン部の定期演奏会では、迫力ある「舞踏風組曲第2番」が演奏され、マンドリンの優しい音色と、力強い部分が良く表現されました。



また、2部では世界の曲をテーマに、ポピュラーなメロディーで楽しませてくれました。

○新入生オリエンテーション○

4月11日(水)に新入生オリエンテーションを行いました。高女生としての心構えや主要教科の学習法をしっかりと学び、三部合唱での校歌練習も行いました。様々な活動を通じて、友達づくりもでき、これから始まる高校生活に向けて少し不安も緩和され、気持ちも新たに頑張る決意ができた一日になったようです。

また、スクールカウンセラーの清水先生のお話も大変参考になるものでした。



○生徒会オリエンテーション・部活動紹介○

4月12日(木)、生徒会主催の生徒会オリエンテーション・部紹介が開催されました。

オリエンテーションでは、高女生徒会の活動をユーモアを交えて楽しく紹介し、「部紹介」では各部の先輩たちが趣向を凝らして活動内容を披露し、新入生に一生懸命アピールしていました。先輩のかっこいい姿に新入生も羨望の眼差しを向けていました。



中庭の小便小僧は、
開校記念式の日だけ
水を出すんです！！



○開校記念式○

5月1日(火)、開校記念式が挙行されました。記念講演会では高女出身の東野珠実先生を講師にお迎えし、講話をして頂きました。「千年の響」という題で、実際に笙を演奏しながら奥深い内容のお話をして下さいました。笙の音を生で聴くことは大変貴重で、独特の音色に聴き入ってしまいました。先生は有名なアーティストとの共演の経験もあり、海外でのご活躍されており、グローバルを目指す高女生にとって大変興味深い内容になっていました。



○総合成果発表会○

5月1日(火)の開校記念式当日、自らの研究成果や研修での経験を全校生徒の前で発表する総合成果発表会が行われました。充実した研修内容に加え、全員が堂々と胸を張り、聴く人を意識した非常に質の高い素晴らしいプレゼンテーションでした。高女グローバル研修の発表では、劇を交えながら現地での様子を詳しく、また、面白く発表していました。

<発表者一覧>

- ・『女子力』にみる日本人の考え方 3年 町田穂乃花
(H29 課題研究文系最優秀研究)
- ・「ショートスリーパーになるには」 3年 竹鼻愛
(H29 課題研究理系最優秀研究)
- ・「カフェインとドリンク剤」 2年高梨優衣、佐藤友美
- ・「安全な食について～卒業後も健康で暮らすために」
3年小林初音、栗原奈寿菜

